

# 箕面市の防災について

令和7年11月

箕面市役所  
市民安全政策室

# 市民のみなさんをお願いしていること

箕面市では、行政を中心とした防災体制を見直し、**行政と市民が一体となった防災体制**を構築します。

まずは、

行政にしかできないことは、行政が率先して行っていきます

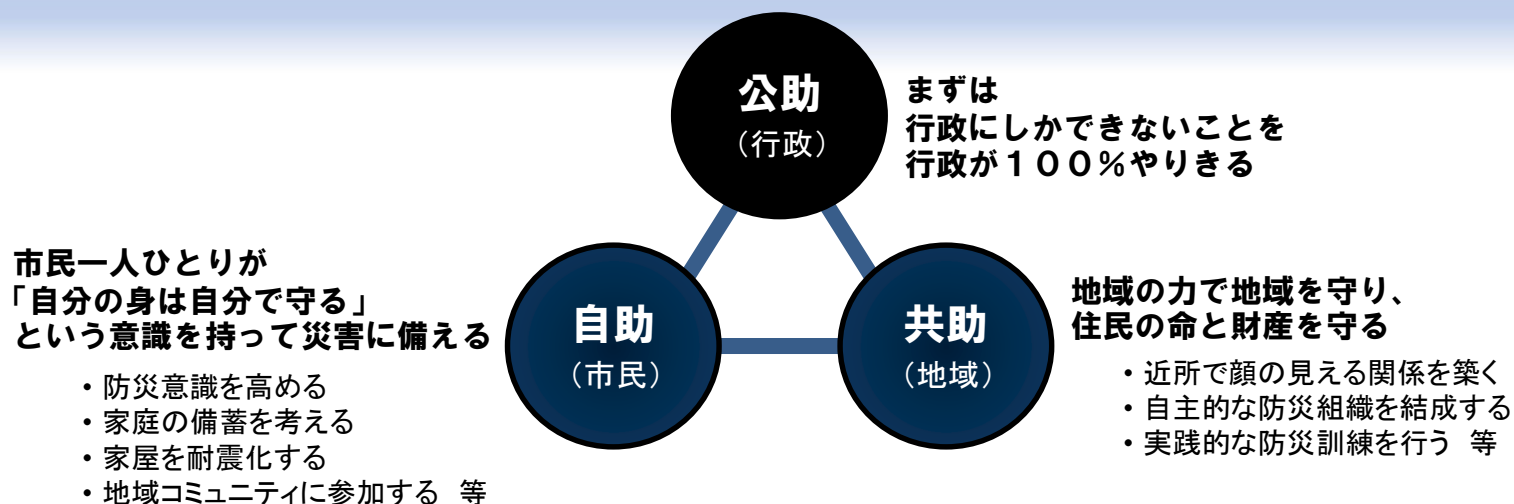
そして、市民のみなさん一人ひとりに対し、

「**自分の身は自分で守る**」という意識を持って災害に備え、

**近所の皆さんと協力し合いながら防災活動**に取り組む

ことを、お願いしています。



## 「災害に強い箕面」をめざす 防災体制の**アウトライン**



# 大災害時の箕面市の防災体制

全市域が被災するような大災害が発生したら、たとえ全力を尽くしても、**行政だけでは市民のみなさんを守りきることはできません。**

## 災害発生時の市の体制

対応できる職員数	消火・救助活動
震災当日に出務できる <b>職員数</b> は……  <b>600人（※）</b>    <b>600人で市民14万人を 守りきることは不可能</b> です。	同時に出動できる <b>緊急車両</b> は……  <b>消防車 7台 救急車 5台</b>    <b>箕面市内 7分隊</b> で運用。 火事や救急車で同時出動するには 限りがあります。

※阪神・淡路大震災時の神戸市のデータから試算

**行政だけでできることは、残念ながら有限**です。  
**この事実を直視し、真に災害に強いまち**を作っていく必要があります。

# 家庭での地震の備え

## 1 自治会に入る

自治会に入っていれば、災害時の安否確認等を行いやすく、必要な支援等もスムーズに行うことができます。

- 発災直後の安否確認は、自治会単位で行います。
- 食糧・物資などの配給は、自治会を通して行います。

自治会に入っていないと、災害時のセーフティネットから外れてしまう恐れがあります。

**現在の結成率は50%程度**  
徹底的な加入・結成促進が必要

※「自治会」という名前にこだわらず、マンション管理組合などの地縁的団体で安否確認のしくみを作っていれば、自治会に準じるものとして取り扱います。

## 3 家の耐震診断を受ける

家屋の倒壊は、命を危険にさらすだけでなく、**火災の原因**にもなります。

また、家が無事なら災害後の生活再建が早く経済的な損失も最小限で済みます。

▶ 市の補助金を利用して、  
**自己負担 無料キャンペーン！**

## 2 3日分の水・食糧を備蓄する

被災地外からの救援物資などの支援は、発災後3日目程度から入り始めます。

それまでは、地域で助け合いながら、家庭の備蓄で持ちこたえなければなりません。

ひとり9ℓの飲料水が必要



調理しなくても食べられる食糧



※避難所には、**最大2万人の避難者が3日間持ちこたえられる食糧と飲料水**を確保しています。

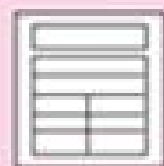
### 市の耐震補助制度

耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事に対し、補助制度があります。

市では、市民の心理的なハードルを低くするため、負担の軽い耐震診断を前面に出して啓発を進めています。

また、事業者と協定を締結し、補助金申請手続きの代行まで一貫して事業者が行うようにし、手続きの負担もなくしています。

## 貴重品



緊急のカード



印鑑



健康保険証  
(コピーでも可)



身分証明書  
(コピーでも可)



現金



銀行の口座番号や  
生命保険契約番号  
の控え



母子健康手帳

## まず入れておくもの



予備マスク



非常用のスマホ  
充電器



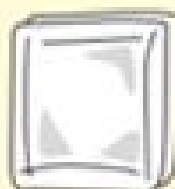
非常食・飲料水



予備あるいは  
作業手袋



救急セット



ビニールシート



アルミ製保温シート



毛布やシート、タオル等



鼠やブザーなど

## 入れたほうがいいもの



ウェット  
ティッシュ



予備の電池



懐中電灯



レインコートや雨具



携帯ラジオ



給水袋



使い捨てカイロ



スリッパ



下着・着替え

## 人によって必要なもの



予備のメガネ



生理用品



おむつ  
(乳幼児・高齢者用)



携帯電話・お薬手帳

# 発災直後の家庭内の動き

大規模地震が発生した直後に市民ひとりひとりがとるべき行動について、市では「**命のパスポート**」（もみじだより（毎月、防災ページをカラー掲載など）を通じて繰り返し広報しています。

揺れがおさまったらまず最初にすべきこと、それは「靴を履くこと」。自らの身を守り、すぐに地域での助け合い活動を行う態勢を整えることの象徴として啓発しています。

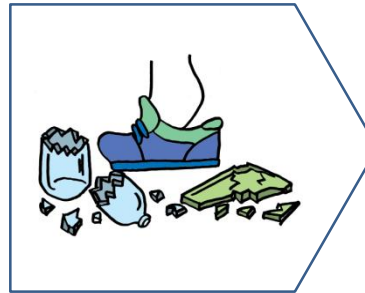
テーブルの下へ。  
脚をしっかり持って！

グラツと  
きたら…



揺れが  
おさまっ  
たら

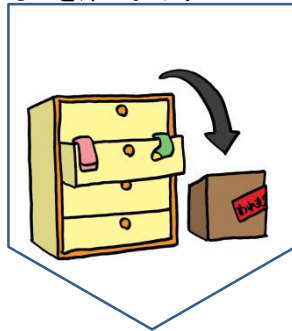
家の中でも靴を履く



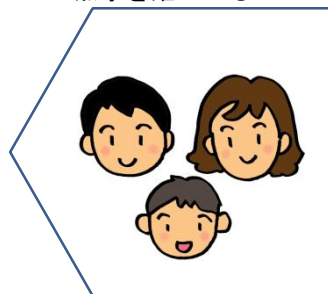
火を止めて



余震で落ちそうな  
ものを床におろす



家にいる家族の  
無事を確かめる



出口を確保して、ガスを止める・ブレーカーを落とす



「**黄色いハンカチ**」を玄関先に掲げる



# 地域での基本の動き

向こう三軒両隣で無事を確かめあう

もしも火が出ていたり、家屋が倒壊していたら...

自分達で消火・救助にあたる

地域での活動が落ち着いたら...



家が無事なら  
家にいる

水や食料を分け合うなど、地域の  
人と協力しながら、自宅を拠点に  
インフラ復旧と外部支援を待つ



家が危険なら  
避難所へ

倒壊や延焼などで、家にいたら  
危険な状況の時は、避難所に  
避難する

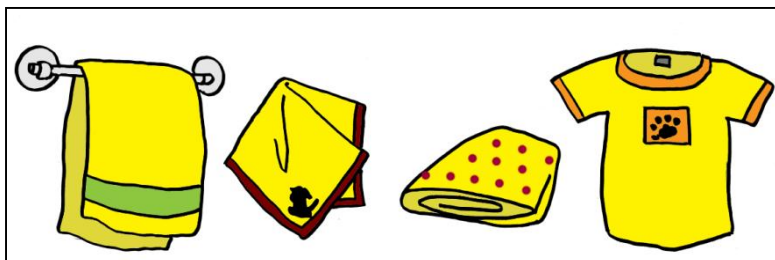


# 黄色いハンカチ作戦

箕面市では、家にいる家族が全員無事（救助などの必要がない状況）だったら、黄色いハンカチ（大きく目立つ黄色い布）を玄関先に掲げ、近所の人に無事を知らせる「黄色いハンカチ作戦」を広めています。

またこの作戦は、地域における防災改革の象徴にもなっています。

大きく目立つ黄色い布ならなんでもOK



※自治会などでまとめて購入して配布しているところもあります。

門扉にかけたり、  
郵便受けにはさんだり



マンションなどで独自の  
ルールを決めている場合も

## 黄色いハンカチ作戦の効果



黄色いハンカチがあると...





# 小学校区ごとの地区防災委員会

箕面市では、自治会などの地域コミュニティと、校区で活発に活動しておられる各種団体などを中心に、小学校区ごとに「**地区防災委員会**」という住民組織（防災組織）を作っています。

## 小学校区ごとの地区防災委員会

校区にお住いの全住民と校区で活動する全団体

中心になっていただいているのは

平常時から地域で活動いただいている各種団体と自治会



- 地区福祉会
- コミセン管理運営委員会
- 青少年を守る会
- 青少年指導員
- PTA
- 民生委員・児童委員
- 消防団
- 赤十字奉仕団
- 老人クラブ
- 自治会
- マンション管理組合      など

+市職員（**地区防災スタッフ**）や**学校職員**

# 災害時の地区防災委員会の活動

- 1 地域からの**安否情報を集約**する
- 2 **避難所を運営**する
- 3 **在宅被災者の生活を支援**する



役員の指揮に従い、  
動ける避難者、手の空いている地域住民など  
みんなで役割分担します。

動ける避難者を活動班に編成する



避難者を誘導する



施設の安全点検をする



救援の必要な地域に応援を出す



安否確認名簿を開封して確認に走る



自治会を通じて救援物資を配る



# 地域防災ステーション

地域防災ステーションとは、自治会などの災害時の一時的な集合場所や、消火・救助活動の拠点として公園などを利用していただくため、市が消火・救助資機材などが入った**地域防災ステーション 61 箇所**を**防災拠点**として指定します。

比較的広い公園などに、市が消火・救助資機材を整備して、地域での消火・救助活動に使っていただきます。





# 避難行動要支援者名簿の活用

各避難所に備え付けてある金庫の中に、災害時に安否確認や避難支援が必要なかたの情報を記載している「避難行動要支援者名簿」を収納しています。

## 避難行動要支援者名簿とは

- ・災害対策基本法に基づく名簿
- ・災害時だけではなく、**平常時から利用可能**

※箕面市では「災害時用」と「平時用」に分けて名簿を作成

### 【登載者】

- ・要介護1・2で独居の者
- ・要介護3～5の者
- ・身体障害者手帳1・2級の者
- ・療育手帳Aの者
- ・精神障害者手帳1級の者
- ・上記に該当しない高齢者や障害者で希望する者

### 【名簿の提供先】

- ・**地区防災委員会**
- ・民生委員・児童委員
- ・消防団
- ・箕面警察署
- ・社会福祉協議会（地区福祉会を含む）
- ・自治会（提供を申し出たもののみ）

避難所における活用イメージ

市内で約4,000人

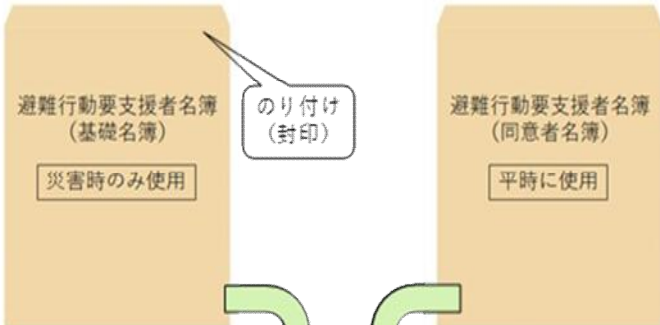
### 基礎名簿（災害時のみ利用）

- ・基準に基づき自動抽出
- ・発災時の安否確認などに利用する

市内で約1,500人

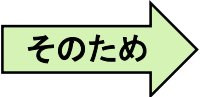
### 同意者名簿（平常時から利用）

- ・基礎名簿登載者のうち平時利用に同意を得たかたの名簿
- ・防災訓練などに利用



# 避難所

- 地区防災委員会に運営してもらうため、拠点化が必要
- 限られた人的・物的リソースを集中投下するため、合理化が必要




箕面市では避難所を以下の通り指定しています。

【主な避難所の機能強化】

- ・全小中学校のを耐震化
- ・全小中学校の貯水槽を耐震化
- ・体育館に発電機を併設した空調機設置
- ・食糧、発電機、投光器、マンホールトイレ、感染症対策物品、無線機などを配備
- ・災害時優先電話や特設公衆電話などを整備
- ・被災者がフリーWi-Fiを利用できる無線LANアクセスポイントを整備

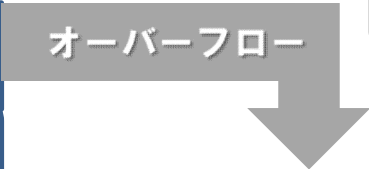
最初に開設する避難所（14カ所）

小学校



(萱野北小校区は二中、北小学校校区はメイプルホール)

- ・箕面小学校
- ・萱野小学校
- ・中小学校
- ・南小学校
- ・西小学校
- ・東小学校
- ・西南小学校
- ・萱野東小学校
- ・豊川北小学校
- ・豊川南小学校
- ・とどろみの森学園
- ・彩都の丘学園
- ・第二中学校
- ・メイプルホール



拡張して開設する避難所（4カ所）

中学校 ※一中、二中を除く

- ・第三中学校
- ・第四中学校
- ・第五中学校
- ・第六中学校

予備的避難所（3カ所）

- ・北小学校
- ・萱野北小学校
- ・第一中学校

※発災後一定時間が経過したのち災害対策本部の判断で安全性が確保される場合に使用

※居住している校区の小学校に避難するよう指定（避難所内でのコミュニティ形成のため）  
※萱野北小学校、北小学校、第一中学校は、土石流の危険区域内（ハザードエリア内）にあるため、避難所として使用しない

# 配慮が必要な避難者について

## アレルギーを持つ人

- ・ご飯はアレルギー物質28品目不使用のものを備蓄

えび、かに、小麦、そば、卵、乳、ピーナッツ、くるみ、アーモンド、あわび、いか、いくら、オレンジ、カシューナッツ、キウイフルーツ、牛肉、ごま、さけ、さば、大豆、鶏肉、バナナ、豚肉、まつたけ、もも、やまいも、りんご、ゼラチン

## 外国人

- ・外国人防災アドバイザーの養成
- ・色々な国の言葉で表示物や配布物などを準備

## 赤ちゃん

- ・哺乳瓶やミルクを備蓄
- ・紙おむつを備蓄

## 障害などをお持ちの人

- ・基本的に避難所となる小学校はバリアフリー化している
- ・車イス対応型の仮設トイレの備蓄
- ・停電に備えて発電機などを備蓄
- ・避難所ごとに配慮が必要な方専用の部屋を用意する



# 避難所の備蓄食糧（リゾット、アルファ化米）





# 避難所の備蓄食糧（パン）

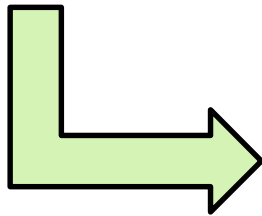




# 避難所の様子



大阪北部地震のときの豊川南小学校

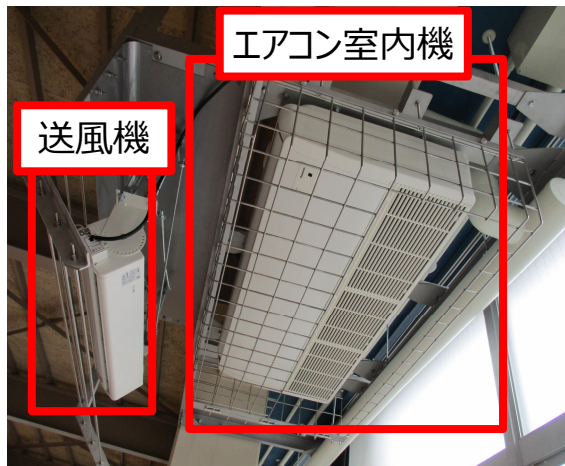


間仕切りや簡易ベッドを  
用意しています



# 体育館の避難者用空調設備

小・中学校の体育館には空調機が設置されており、災害時にも使用できます



燃料はLPガスを利用しており、各学校に貯蔵庫が設置されています



専用発電機も併設されているため、停電時にも空調機が利用できます

エアコンの使用方法、必要な鍵などは各地区防に1つずつお渡ししています。

# その他

## 避難所AP(避難者用無料WiFi)

体育館や避難所運営本部などに、避難者用無線AP(アクセスポイント)が設置されています。  
災害発生時、災害対策本部にて切り替え作業を行うことで、避難者などが無料で使えるWiFiを提供することができます。

切り替え作業を行った場合は、災害対策本部から各地区防に連絡いたします。



## 自主登録ツールの準備

まだ登録していないかたは、登録をお願いします。

大阪防災アプリ



おおさか  
防災情報メール



市民安全メール



市民安全LINE



市民安全X  
(旧ツイッター)





# トイレトレーラー

箕面市では、「災害時の利用」を想定して企画・設計された、新タイプの移動設置型トイレトレーラーを1台配備しています。



市職員で8名が  
けん引免許を取得

## 特徴

- ・けん引車でどこにでも移動ができる
- ・給水・汚水タンクを備えており、到着後すぐに使用できる
- ・太陽光パネルが設置されており、バッテリー電源と照明も確保できる



ご寄付頂いた、事業所、団体、個人のお名前が車両背面に掲載されています

## 災害派遣ネットワークプロジェクト「みんな元気になるトイレ」に参加


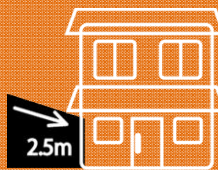

日本全国で36自治体に参加（令和7年8月現在）

大阪府箕面市、北海道沼田市、埼玉県越谷市、  
静岡県富士市、愛知県刈谷市、岡山県倉敷市他

災害が起きた時、ネットワークを通じて被災地に出向いて支援するプロジェクトです。



# 市からののお知らせと取るべき行動

高齢者等避難		避難指示	緊急安全確保
<div>レッドゾーン</div> <div>家屋が倒壊する危険あり</div> <div></div>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「避難所に避難」の対象の人は、避難所に避難を開始</li><li>・高齢者・障害者または小さな子どもを連れて避難する人は、避難所に行く</li><li>・通常の避難行動ができる人は、避難の準備したり自主避難を始める</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・すぐに避難所に行く</li><li>・危険な場所から全員避難</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・すぐに安全な避難ができず命が危険な状況です。</li></ul> <div>この時点で避難していない場合は、近隣の相対的に高く堅牢な建物等に緊急に移動するなど生命を守るための最低限の行動をとる</div>
<div>ハイリスクエリア</div> <div>1階窓から土砂が流れ込む危険あり</div> <div></div>	<div>平屋建て</div> <div>2階建て以上</div> <div>・外出せず、家にいる</div>	<ul style="list-style-type: none"><li>・家の中で、2階以上のがけ、山・川から離れた部屋に移動する</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・家の中で、2階以上の山、がけから離れた部屋にいる</li></ul>
<div>イエローゾーン</div> <div>床下まで土砂がくる危険あり</div> <div></div>	<div>・外出せず、家にいる</div>	<ul style="list-style-type: none"><li>・家の中で、2階以上のがけ、山・川から離れた部屋に移動する</li><li>・平屋建ての人は、1階のがけ、山・川から離れた部屋にいる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・家の中で、2階以上のがけ、山・川から離れた部屋にいる</li><li>・平屋建ての人は、1階のがけ、山・川から離れた部屋にいる</li></ul>
<div>ハザードエリア外</div>	<div>・外出せず、家にいる</div>	<div>・外出せず、家にいる</div>	<div>・外出せず、家にいる</div>

# ご清聴ありがとうございました。

## 今すぐできる防災！

車ででかけたら 給油してから帰宅



車の燃料があれば、移動だけでなく、  
暖房を使用したり、  
インバーターを使って電源を取れます

